

◎12月会議(12/10～12/11)が開催されました。

●一般質問は、次の11名の議員が18件について、町長及び教育長の事務執行の状況や将来に対する方針などについて所信を質問しました。

◎前本 幸政 議員	・クリーンエネルギーの町「森町」を目指して
◎黒田 勝幸 議員	・合併後の検証と今後の課題について
	・住宅建設者への支援について
	・森町基幹集落センターについて
◎山田 誠 議員	・森町の人口減に伴う子育て支援策（少子化対策）について
◎西村 豊 議員	・ゴミステーションかごの設置について
◎小杉久美子 議員	・ワンストップサービスについて
	・要援護者世帯への除雪支援体制について
◎宮本 秀逸 議員	・鳥獣害対策の現状と課題について
	・尾白内1015番地町有農地について
◎東 秀憲 議員	・防災対策について
◎堀合 哲哉 議員	・教育委員会の制度改革と学力テストの公表について
	・消費税増税と福祉政策について
	・特定秘密保護法の町民、自治体への影響について
◎中村 良実 議員	・スポーツに依る町づくりについて
◎松田 兼宗 議員	・町有地売払い等に関する調査特別委員会報告書について
	・行財政改革推進の進捗状況について
◎三浦 浩三 議員	・事務事業の継続と改革について

詳細につきましては、2月発行予定の議会だよりに掲載します。

町民の皆様と議会との対話集会を開催しました。

森町議会では、議会論議に町民の声を反映させようと、平成25年10月9日に森公民館で、平成25年10月16日に砂原公民館で対話集会を開催しました。あいにくの天候の中参加いただいた町民の皆様から熱心なご意見・ご要望等をいただきました。

ここでは町民の皆様と議会との主な対話を紹介します。

平成25年10月9日(水)
午後6時30分
会場 森町公民館
出席者35名

町民「議会として不祥事の続いた国保病院の運営について、今後どのような考え方を持っているのか。」

議会「議会としてはまとまった案は現時点ではないが、このような大きな不祥事については問題です。町民の皆さんの意見を取り入れながら議会としての考え方を早急に行政側に提案し、対応していかねければなりません。また、町立病院の大きな赤字経営に対しても皆さんの意見を取り入れながら提案していきたいと思えます。」

町民「退職後の院長の後任は決まっているのか。今後、救急医療の充実や夜間診療を早急に復活させてほしい。議長から町長へ提言書を出すべき。また、松前町の医師を連れて来られないものなのか。」

議会「夜間診療はローテーションの関係から医師を確保しなければなりません、こ

の10月1日より瀬棚町から医師が来ましたので、是非、夜間診療が実現するよう行政に伝えてまいります。」

町民「薬剤師の不祥事に關し、院長の反省が見られない。町民に対し謝罪がないような気がする。今回のことで、森町のイメージが大きく低下した。」

議会「テレビ報道番組を見ていると、私自身も不満な思いをしました。翌日の新聞には反省の謝罪がされていたようです。また、薬剤師をフオロする言葉はいかがなものでしょうか。議会としても院長に出席を求めてきました。一度出席しただけで、誠意が伝わってこなかったと受けとめました。町長は新年度より病院の建て直しを実現したいと述べています。」

町民「病院の赤字体質と不祥事については、別に考える必要があるのではないか。赤字体質については、以前に松前町の病院や今回の青森県外ヶ浜町の病院の視察を実施し、報告をしているが、それらを

生かし森町国保病院に当てはめた場合どうあるべきか等の提案をしてほしい。不祥事に対しては理事者がきちんとしていれば、このような問題は出なかったのではないか。」

議会「病院の赤字体質については、一般質問や所管の委員会等でいろいろ町長に提案していますが、町長は医師、看護師の確保が最優先との回答であり、それ以上の進展がない状況です。」

議会「しかしながら、議会視察（松前町、外ヶ浜町）で病院経営は「トップ」の考え方で大きく左右すると感じました。」

町民「外ヶ浜病院視察で、国保病院に対し、これだけは取り入れたらいいという事はあったのか。」

議会「病院だけではなく、老健施設等の併用を生かして経営していました。」

町民「病院長退任後（6ヵ月後）の体制はどうなっているのか。」

議会「医師確保に関しては、町長の出身（函館ラサール高

校）の知人、友人のルートを通じて探しています。」

町民「予算（病院予算）の議決権は議会にあり、執行権は理事者にある。しかしながら、議決した議会側にも責任（赤字）があると思う。この事実に対し、議員一人ひとりが責任を感じるべきではないのか。そして真剣に病院に対し考えてほしい。また病院の不祥事について、逮捕まで遅いのではないか。第三者委員会はどうかしているのか。」

議会「議員一人ひとりが責任を感じ、対応してまいります。警察の捜査の仕方です。警察の捜査の仕方です。第三者委員会については現在準備しているようですが、大変遅いと感じています。」

町民「防災対策について、気仙沼市、亘理町を視察されたようだが、森町に生かせる対策はあったのか。」

議会「地域毎に対策方法が変わります。森町は駒ヶ岳噴火と津波の2つを考えなければなりません。津波に関しては高い建物も必要ではないか

と思っております。また、自分のことは自分で(自助)津波でんでこの防災教育の取り組みも必要です。」

町民「防災無線(東森地区)の放送内容が少ないのではないか。」

議会「現在は以前よりも行政無線を多く放送しています。今後は各家庭への戸別受信機の設置も検討していききたいと思えます。」

町民「8月号の議会日よりの中で、議員研修会(札幌市)が書かれていたが、内容(片山先生)が載っていないので、その中身を説明してほしい。」

議会「議会改革に期待するというテーマで講演がありました。中身については、議会のチェック機能の強化、現場の当事者を注視し、タイムリーなアクションの必要性、同意案の事前審議等について、アメリカ、ニュージーランド等の海外の様子を入れながら、わかりやすく話されています。」

町民「グリーンピア大沼のトイレ改修工事の予算が計上されていた資料を見たが、今後グリーンピア大沼を(売却も含めて)どうするのか。また、税金等の未納金(固定資産税、住民税、町営住宅使用料等)が毎年増えて町財政を圧迫している。」

議会「グリーンピア大沼については、5年毎の契約更新がなされています。修繕については年次計画を立てて進めてほしいと要望しています。税金の未納金については、議会としてもきつい意見を述べていますが、行政側も悪質者に対しては滞納整理機構で対応しております。また、差押え等を実施して収納率を上げています。」

町民「町長と議会との会議を多く持つてはどうか。これまで4回も不認定とはどういう事なのか。」

平成25年10月16日(水)
午後6時30分
会場 砂原公民館
出席者15名

議会「現在の院長は3月末

で退職し、4月からは新体制で取り組む予定です。また、夜間診療の復活と黒字化に取り組めるよう議会としても対処を検討します。」

町民「旧砂原町で民間移管した。森の国保病院は死ぬ病院と言われている。松前町では黒字化に成功しているのにおかしいか。」

不祥事がある国保病院の改革はどうするのか。精通した民間監事と新たに第三者委員会などの機関を立ち上げてはどうか。」

議会「第三者機関の立上げを進言するように協議します。」

町民「病院長の採用権は誰にあるのか。」

議会「理事者が決めるものです。ただし定年はありません。」

町民「採用が大事で、議員個々でも努力を。」

議会「司法調査では裏付けが大事で長くかかったようです。」

町民「夜間診療がなく、救急車でないと診察してもらえないのは駄目だ。」

議会「医師不足などで救急診療でないと受け入れられないのが現状です。」

町民「先進地研修を生かすような報告ができないのか。」

議会「3年程前に行革委員会を立ち上げて検討してきた3事業について、現町長が「一時白紙化」を打ち出しましたが、議会としても検討します。」

町民「議会として病院の将来を十分に検討すべき(第三者機関も交えて)。」

町民「議員同士で同一のテーマを討論し、また作業現場での意見聴取を検討します。」

町民「砲弾騒ぎのときの、砂原地区と森地区での放送(しゃべり方)に違いがあるのは何故か(森地区はゆったりしている)。」

議会「森地区は外部スピーカーのため、聞取りにくいためゆくりりしゃべります。森地区にも戸別受信機を設置する働きをこれからはします。」

町民「膨大な金がかかるので、危険地域から順番に設置しては。」

議会「平成26年度予算に向けて取り組む働きをしたいと思えます。」

町民「当町は山の噴火、津波とあるので、地域での取り組みも。」

町民「コンブ石の投石について、昨年自主的に仲間と小石で実験したが結果は良好だったので、是非この投石に補助を。また、粉碎廃棄するテトラポットがあるが、再活用できないものか。」

議会「この切実な話を何とか生かしたいと思えます。」

町民「もっと行政のスリム化をすべきと考えるが。」

議会「行政改革に更に取り組み働きをする所存であります。」

●12月会議については、次のとおり行われております。

平成25年第1回森町議会12会議は、12月10日と11日の2日間の日程で開かれました。

1日目（12月10日）は、議員11名・18件の一般質問が行われました。

2日目（12月11日）は、①条例（森町職員の給与に関する条例の一部改正等）9件、②補正予算9件、④財産取得について2件、⑤意見書案7件、⑥その他2件について審議を行いました。

詳細につきましては、次号の議会だよりに掲載します。

◎11月会議(11/15)も開催されました。

●森町議会11月会議が11月15日に開催され、町長提案の議案について下記のとおり審議を行っております。

条 例

◆森町医薬品横領事件検証第三者委員会条例制定・・・・・・・・・・（原案可決）
医薬品横領事件の発生に伴い、病院の管理体制等について問題が提起されていることに鑑み、中立かつ公正な第三者の立場に立って、客観的かつ公正な検証及び再発防止のための調査等を行なうため、森町医薬品横領事件検証第三者委員会を設置しようとする条例

補 正 予 算

◆平成25年度森町一般会計補正予算（第6号）・・・・・・・・・・（原案可決）
歳入歳出に211万6千円を追加し、一般会計予算の総額を91億1,453万1千円とする議案
（主なもの）役場駐車場外灯新設工事 80万円
町有地調査・測量委託料 97万円
重機借上料 34万6千円

◆平成25年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）・・・・・・・・・・（原案可決）
歳入歳出に66万2千円を追加し、国民健康保険特別会計予算の総額を30億5,924万2千円とする議案
（主なもの）基盤安定負担金軽減世帯数等の算定変更に伴うシステム改修委託料 66万2千円

◆平成25年度森町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）・・・・・・・・（原案可決）
収益的支出で74万5千円を追加する議案
（主なもの）第三者委員会謝金 61万円
普通旅費 8万5千円
食糧費 5万円

議会議員との意見交換をしませんか

【申し込み方法】

議会事務局に申し込みください。その後、開催に関する必要事項を協議させていただきます。

連絡先：議会事務局（Tel 2-2185）